

スマートフォン対応 狩猟支援用地図アプリケーション 「またぎい」

⑤



全猟編集部

前号では、狩猟支援用地図アプリケーション「またぎい」の主な機能についての概略を説明しました。今回は実際に出現した使用例を紹介していきます。

①サービスイリアの事前確認
表示する地図は著作権の関係上、インターネット接続を前提としているので、前日NTTドコモホームページで「FOMA」のサービスイリアから出猟する場所の確認を行います。

②鳥獣保護区等位置図表示と
画面写真

猟場で電波が届かなくなった場合に備えて事前に地図を保存しておきます。

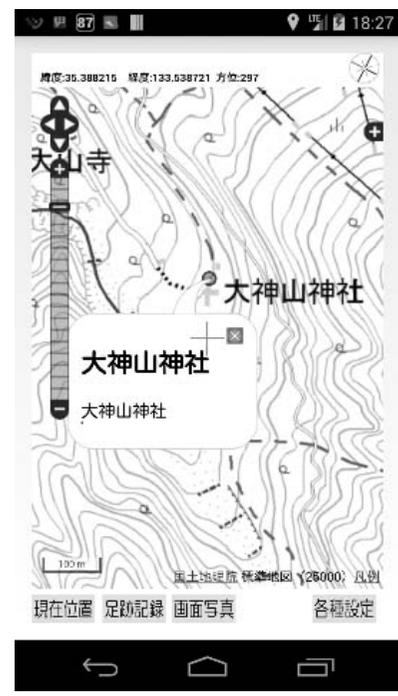
③現在位置確認と足跡記録
猟場に到着したら、現在位置をタップして、地図上で現在地を確認します。

④報告送信
捕獲した際に、撮影した写真やメモを記入したものを、報告送信で記録として保存することができます。

この機能で現在、自分が鳥獣保護区等にいるかどうかを即座に判定することが可能です。

また、足跡記録をタップすることにより、移動経路が赤線で表示されます。この機能で、自分がどちらに向かっているかが即座に分かります。電波が届いていない場合でも、足跡記録は表示されます。

記録中をタップすることにより、赤線で表示された足跡記録が保存されています。ただし、保存は電波の届いている場所で行う必要があります。



独自地名、記録した場所と名称を表示



機能選択目次画面



足跡記録、名称管理(変更削除)画面

⑤画面写真
電波が届かなくなり、地図が表示されなくなった場合、画面写真で保存した地図画面を表示することが可能です。

ただし、この画面写真の画面では現在地表示が動作しないので、注意が必要です。この対処方法として、狩猟時に広範囲を表示しておけば、このような事態を回避することができます。

⑥独自地名
待ち合わせ場所や目印となる場所などに名称を付けて地図上に記録できます。

⑦ふりかえり
出猟時に保存しておいた足跡記録、報告送信、独自地名を自宅で見ることが可能です。次回出猟への参考として役立つ記録だと思います。

「またぎい」は、北海道、茨城、千葉、新潟、群馬、山梨、長野、岐阜、静岡、兵庫、岡山、広島、鳥獣保護区等位置図に対応しています。

アンドロイド用スマートフォンをお持ちの方は、機能を体験版で試すことが可能です。また、モニター登録、賛助会員として入会することにより、体験版の制限を解除できます。

詳しくは、特定非営利活動法人スサノオのホームページをご覧ください。

特定非営利活動法人スサノオ

鳥獣保護区等と自分自身の位置の把握から狩猟の安全性向上、狩猟記録管理等の利便性向上、有害鳥獣駆除並びに個体数調査等の利便性向上を図るために、アンドロイド端末を利用した「鳥獣保護区等位置図」表示・活動記録アプリケーションの開発・配布に関する事業等を行っています。最新機器を導入することによって、若年層の敷居を下げ、鳥獣保護管理の担い手を確保し、農作物獣害問題の解決に貢献するために平成25年10月に設立されました。



スサノオ

<http://www.susano.jp/>